

deco 通信 vol.5

～孔雀（くじゃく）～

皆様にお店の事、食材の事を少しでも紹介できたらという事で始めさせていただいた deco 通信ですが今回、vol.5 は孔雀の紹介をいたします！



孔雀は、鳥綱キジ目に属する大型の鳥類です。アジアに住むインドクジャクとマクジャク、アメリカに住むコンゴクジャクの 3 種があります。日本の動物園で主に飼育されているのはインドクジャクです。総じてオスはカラフルで荘厳な姿をしており、目玉模様がついた飾り羽を大きく広げてディスプレイする姿が有名。因みにこの飾り羽は、発情期が過ぎると残らず抜け落ちてしまうそうです。メスは比較的地味です。インドクジャクは比較的ヒトに馴れ易いので、古代ローマでは愛玩用の家禽として飼育され、七面鳥がヨーロッパに齎されるまでは食用にもされていました。

雑食性で、毒蛇や毒虫を貪欲に食べる鳥としても知られています。美しい姿に加え、そうした食性から「毒のある生き物の害を取り除く神聖な生き物」として神格化され、密教の孔雀明王やイラクの民間伝承に登場するマラク・ターウースなど様々な神々のモチーフになっているそうです。雄は長い飾り羽根のせいかあんまり飛ばないで歩いていることが多いが、飛ばない訳じゃないそうです。

もともとフランスの古い文献によると 14 世紀シャルル 5 世の時代には鹿、白鳥、アオサギ、孔雀は 1 級品の食材と言われ 宗教改革大航海時代にはラッパの演奏共に手拍子と共に孔雀料理が振舞われ、七面鳥とキジに変わるまで孔雀はもっとも珍重された食材でありました。ナポレオン支配から解放された後の祝宴では胡桃を飼料とした孔雀料理が振舞われたようです。

沖縄で大量繁殖で孔雀が問題になっています。年間を通して駆除しています。肉質はキジに似ていて大きい物だと 8 キロにもなるそうです。駆除問題や古くからフランスで食されていた事などから、deco で孔雀料理を提供することにしました。

deco で提供している孔雀料理は「孔雀のテリーヌ ヴァリオール風」です。ヴァリオールとは本来、羽や頭をお皿の上に飾るのですがヴァリオールの解釈として華やかさであったり 狩猟した本物の肉で 狩って来たんだぞっていう優越感の演出だと思っんです。ただ現在は衛生的に無理なので..木とガラスと羽でお皿を作ってヴァリエール風にしてみました。僕的には華やかさや優越感の演出というよりは命ある生き物を頂いているという事を実感して頂きたいと思っています。